



きしほいくえん



早いもので今年度も進級・入園から半年となり、子ども達の生活リズムが安定し、自分で出来る事がとても増えました。子ども達の頼もしい成長を感じ、とても嬉しく思います。

今年は6月中旬から真夏日の暑い日が続き、8月には40℃越えの猛暑日が青梅市や八王子市でありました。9月になりましたが暑い日はまだまだ続くようです。気温の変化に対応し体調に気をつけていきましょう。

9月・10月 行事予定

9月	3日(水)	8・9月誕生会
	4日(木)	1・2歳児保育参観
	9日(火)	避難訓練
	17日(水)	光で遊ぶワークショップ (年長児)
	30日(火)	年少児遠足
10月	1日(水)	冬服着用
	3日(金)	お月見会(年長児)
	9日(木)	年中・年長児バス遠足
	17日(金)	食育
	20日(月)	年少・年中・年長児 体操参観
	22日(水)	観劇



9月・10月 体操教室

9月 1日(月)
8日(月)
29日(月)

10月 6日(月)
20日(月)

※10月20日(月)はしか組・
こあら組・ぱんだ組の体操参観
です。



手拭きタオル・口拭きタオルの名前が見えにくくなったら書き直して下さい。また、変色やカビによる汚れがある場合は、新しいタオルに取り換えましょう。



10月1日(水)より衣替えです。年少児・年中児・年長児はスモック着用になります。購入される方は用紙の提出をお願いします。



子どものすこやかサポート



9月9日は「救急の日」。夜間や休日に子どもの体調が悪くなったり、けがをしたりしたときは、救急外来や休日診療を受診した方がいいのか、判断に迷うことがあります。こども医療電話相談(#8000 または 03-5285-8898)は、受診の必要性を判断してくれたり、アドバイスしてくれるので、活用してみてください。

こんな時は、ためらわずに救急車を！ ●出血が止まらない ●意識がない、混濁している
●唇が紫色で呼吸が弱い ●激しい腹痛、嘔吐が止まらない ●交通事故 ●高所からの転落
●乳児(3か月未満)の高熱 ●けいれんや硬直している

<救急車を呼んだ時、準備しておくの良い物>

- ・保険証(マイナンバーカード)
- ・診察券
- ・乳児医療証
- ・お金
- ・着替え
- ・飲んでいる薬(お薬手帳)
- ・母子手帳
- ・紙おむつ・哺乳瓶・タオル



<救急車が到着時、伝えると参考になります>

- ・事故の状況や体調が悪くなってから、救急隊が到着するまでの様子や変化
- ・行った応急手当の内容
- ・持病、かかりつけの病院やクリニックがあり、普段飲んでいる薬や医師の指示がある場合は伝えと良いでしょう。



おきゅうしょく ぱくぱく すくすくの おてつだい



災害に備えよう！



残暑がまだまだ厳しい9月ですね。9月1日は防災の日。近年多発する集中豪雨や予測が困難な大地震などによる甚大な被害を最小限に抑えるため、食に対する防災策も普段より講じておきましょう。

ローリングストック

普段使う食材を少しだけ買い溜めして、非常時に備えます。乾麺やスナック菓子、ジュース等も災害時には貴重な栄養源となります。少し多めに保管しておき、期限の近いものから食べるという食事の循環をすることで災害に備えます。また、食材だけでなく、ラップやビニール袋などの消耗品も断水の際に食器を汚さず食べることができるなど、役立ちますのでストックしておきましょう。ポイントは沢山ストックしすぎないこと。あくまで防災備蓄の補助的なものと考えましょう。



防災用備蓄食

災害にあった際、火が使えずに調理ができないケースがあるため、そのまま食べることができるものがおすすめです。近年、食品の保存技術の向上により長期の保管が可能な備蓄食があります。また、備蓄食は美味しくないイメージがありましたが、美味しく食べることができる食品も増えてきています。ぜひ、色々と試して美味しい備蓄食を保管しておきましょう。

